

## 平成5年の経済見通し

商工組合中央金庫金沢支店  
支店長 内田 和成

平成5年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、旧ソ連・東欧で混乱が続く一方、北米自由化貿易協定が合意に達し、カット、ウルグアイ・ラウンド交渉でも進展がみられるなど、冷戦終結後の新たな世界秩序を模索する動きが目立ちました。

一方、わが国経済にとっても厳しい調整局面が続いた一年でした。今回の景気後退は、生産設備のストック調整に加え、バブル経済の崩壊にともなう資産デフレという特殊要因が複合的に作用しており、円高不況を上回る深刻なものとなりました。

一昨年から陰りがみえていた設備投資が一段と落ち込み、個人消費も春先から急速に冷え込むなか、「緊急経済対策」、「総合経済対策」によって公共投資が伸びを高め、住宅投資も回復基調で推移したものの景気を下支えする力は弱く、景気は期を追って厳しさを増しました。

上場企業の9月中間決算は経常利益で前年同期比30%を上回る減益となり、中小企業におきましても、当金庫が毎月実施している「中小企業月次景況観測」の景況判断指数は、平成2年11月以降26ヵ月連続で好転と悪化の分岐点である50を下回り、業種的にもほぼ全てにわたって厳しい状況が続きました。

新しい年を迎え、世界情勢は引き続き新たな秩序を模索する動きが続くものと思われまます。わが国経済に大きな影響を与える米国経済は、企業収益の好転等による設備投資の増加もあり、引き続き緩やかな回復軌道を辿るものと予想されます。欧州経済のネックとなるドイツでは、旧東ドイツに対する負担による物価上昇に対し、金融引締めを継続したことから成長率は大巾に鈍化していましたが、今年は国内景気に配慮して、金融緩和に転換するものとみられ、これを受けて、欧州各国共一段の金融緩和が可能となり、景気はやや上向くと予想されます。

一方、新年のわが国経済を展望しますと、在庫調整もほぼ一巡することから、春先には景気底入れの期待感はあるものの、生産設備等のストック調整になお時間を要すること、バブル経済崩壊の影響が残ること等から、個人消費、設備投資の回復は早くとも秋口以降とみられ、当面の景気は厳しい状況が続くものと予想されます。

財政面では「総合経済対策」により追加された公共事業が本格化しますが、景気回復をより確実にす

るための、所得税減税及びもう一段の公共事業追加が期待されます。

金融政策では引き続き緩和基調が予想されます。長短金利も景気低迷を反映して弱含みで推移し、年央以降は景気回復に伴い緩やかな上昇に転じると思われます。

家計部門のうち個人消費は、耐久消費財のストック調整や、企業収益の低迷により春闘及び夏のボーナスに期待が持てないこと等から回復は秋口以降と予想されます。

住宅投資は、低金利、公的融資枠拡大及び住宅価格の低下傾向から、増勢が続くものとみられます。

企業部門の内、設備投資は、金利はかなり低水準にありますが、設備ストック調整及び固定費増大の負担は重く、投資マインドの冷え込みもある事からこれも秋口以降の回復と予想されます。生産は、在庫調整の一巡に伴い春先には好転しますが、個人投資・設備投資の回復が遅れることから、緩やかな回復にとどまるものと予想されます。

輸出は、欧米の景気が緩やかに回復すること、高付加価値化が進展することから堅調な推移が見込まれます。他方輸入は、当面内需低迷から弱含みで推移し、秋口以降の回復に伴い伸張すると見込まれ、この結果経常黒字額は高水準で推移しますが、伸びは頭打ちとなると予想されます。

物価は、緩やかな景気回復を背景に、製品・労働需給面からの上昇圧力は、顕在化しないとみられ、卸売物価・消費者物価とも落ち着いた推移が見込まれます。

このように新年を迎えたわが国の経済をとりまく環境は、必ずしも平穏なものとはいえませんが、組合員の皆様、このような厳しい環境を克服するためには人材の育成・活用、技術革新、財務体質の強化等、経営基盤を充実させることが引き続き重要なことだと思います。さらに企業家精神を発揮され、経済構造の変化・転換に積極的に挑戦されるならば一層の発展を実現できるものと確信いたします。

私ども商工中金も、中小企業のリーディングバンクとして、皆様の幅広いニーズにお応えし、最も信頼されるパートナーとして、努力を続けてまいります。どうか本年も宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 金問屋センターニュース

1993. 2

No. 55

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585



## 訃報

当組合理事長 小川甚次郎殿におかれましては、病氣療養中のところ、1月28日逝去されましたので、ここに謹んでお知らせ申し上げます。

通夜、告別式につきましては、合同葬（小川株式会社、協同組合金沢問屋センター、協同組合加賀染振興協会）をもって下記の通り執り行われます。

記

通夜：2月6日(土) 午後7時

告別式：2月7日(日) 午後1時

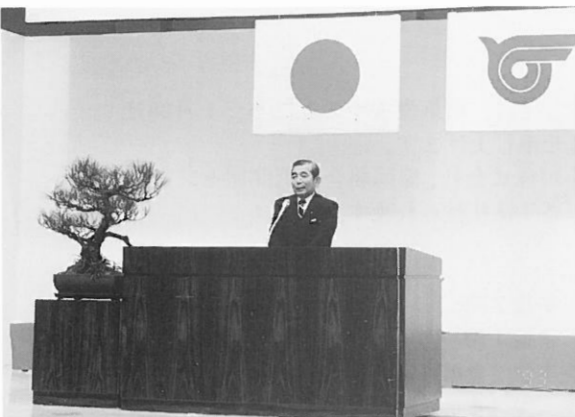
場所：いずれも東別院本堂（金沢市安江町15-52）

喪主：小川利郎氏（長男）

## '93 新年互礼会

恒例、協同組合金沢問屋センターの新年互礼会は1月4日午後2時より金沢流通会館大ホールパルスにおいて来賓、組合員280名が参加して開かれた。国歌斉唱に引き続き、越原副理事長から「低成長時代にふさわしい強固な経営基盤を確立していかねばならない年である」と挨拶があった。

次いで奥田衆議院議員、中西県知事、山出市長、沓掛参議院議員、中村会議所副会頭、安田中央会会長より祝辞を賜り、宇野県議会議員の発声の下に乾杯を行い祝宴に移った。美妓のお酌で話はずみ、宴たけなわの処、末岡市議会議員の音頭で万歳三唱し、本年も盛況の内に終了した。



## 年男 大いに語る



大きく羽ばたく酉年に…

北陸ペイント株式会社  
社長 山田修三

新しい年を迎え、皆様と共に心よりお慶び申し上げます。

今年は酉年……。私の干支であり、五回目ということになります。

還暦は人生の一つの節目には違いないが、又、人生の一つの通過点にすぎないと思っています。会社も今年が創立30周年という記念すべき年でもあります。今まで歩んで来た道をふりかえり、一日一日が成長、進歩、繁栄の蓄積があったか反省し、明日への発展を願い心を新たにならばいいと思っています。

昨年は海外では何百万人という子供達が犠牲になったソマリアの悲劇、ロサンゼルス暴動、国内では佐川急便事件など政治腐敗。おまけに平成不況というダブルパンチ。

地価も株価も下降線、回復のきざしも不透明……etc. 暗かった昨年は元旦の朝のように晴れわたった一年になるよう願っております。

酉年……まさに大きく大空を羽ばたく大トリになると確信いたし、健康に注意し、元気でがんばろうと思います。



酉年 大いに発奮

株式会社 前垣  
常務 前垣内要介

通産省のお役人で(工業技術院 大阪工業技術試験所)無機化学専門で、特に光学硝子を溶融するのに必要な耐火物の開発にたずさわっていた私が、一人よがりな理由と屁理屈を付けて退所したのが昭和32年の暮、雨合羽屋とテント屋に鞍替えするという無茶をしたのが25歳。

今ように言えばUターン組だ。

大工時代は、お役所のことと仕事以外に十分な余暇があり、アウトドアスポーツにいそむことが出来、在阪官公庁のスポーツ大会にもよく出場する機会があったが、ゴルフについては憧れてはいたものの、高嶺の花であり、安月給ではとうていプレーどころではなかった。

帰郷して家業に従事したが、暮の30日まで集金で31日棚卸するという有様で、ゴルフどころかスポーツさえ満足に出来なかった。役所時代と比較するとえらいところに来たもんだと悔んだが、あとのまつり。追々に役人気質もぬけ、商いにもなれ、各地に雨合羽を拡販するため出張をするようになった折、所用で家内の伯父の家にお世話になった時、ゴルフを勧められ、ハーフセットを頂戴したのがはじまり

で、やみ付きとなった。

ゴルフの筆下しは、大阪枚方市にある樟葉パブリックゴルフコースである。スコアは忘れたが、何せボールは左どなりをねらって打つと、ちょうど自分のコースのセンターに落下するという行先知らずの超タスライスボールだった。が、飛距離だけはよく出た方で、今でも樟葉の青空には忘れることが出来ない思い出がある。

やみ付きもよいところで、昭和44年、お世話いただける方がいて、金沢カントリー(現在の奥卯辰山健民公園)の会員となったが、一年後(だったと思う)片山津ゴルフクラブ第二白山コースに吸収され、おかげ様で翌45年に片山津ゴルフクラブのメンバーになることが出来、熱心にラウンドする様になった。

今まで「酒と碁、だったお付き合いにゴルフが仲間入りし、お付き合いの三冠となった。商に精を出し、車ばかりにたより、身体を動かすことの少なくなっていた私には、まさにピッタリのスポーツで、心地よい疲れを感じ、プレー後の生ビール一杯はプレーするものだけに味わえる特権の様な気がした。

ゴルフは一打、一打にストレスを解消する実感が

あり、世の中すべての“シガラミ、からの解放感にひたれ、人間を全く別世界に導く素晴らしいスポーツである。

長い道のり……、昭和47年6月3日、片山津ゴルフクラブよりハンデキャップ“29”を認定にいただいた。以来15年目に念願のシングルプレイヤー仲間入りしたが、HDCP10までに8年、そしてHDCP9までに8年と、ゴルフの厳しさを痛感し、シングル認定までの超スローペースのレコードを作った。

“年齢55歳。

その間にはクラブコンペの月例杯、スポンサー杯等、数限りないほどいただき、プライベートコンペに至っては申すまでも無く、ホールインワン2度、イーグル数回と、そして人間が人間に対する最大の贈り物とする健康をももたらし、幸せなゴルフウイダーを今日まで過ごした。

今年還暦を迎えて、公私にわたって親しくお付き合いを願っております方々は、ゴルフを機縁とした方がほとんどであり、特に問屋センター経営者懇話会のメンバーの方との出会いは、ゴルフを通してであり、非常に良かったと思っている。



### 還暦に想う

株式会社 川助  
専務 桜井和彦

酉年は雪が多いといわれてきましたが、今年も雪の無い穏やかな正月三日が日でした。還暦という大きな節目に来たという実感はしていません。と申しますのも、昨年は春から秋まで年間を通して結構多忙でした。1月に初孫の誕生、3月に長男の結納、4月には家の建て替え準備のための仮住居移転をやり、5～6月家の取壊しや上棟式等々。建築期間中はよい天候に恵まれて予定通り9月末に新居に移り、快適に過ごすことができ喜んでおります。

10月にきて還暦記念事業として同級生同志で物故者の追善法要をあげたり、地元の神社に玉垣の寄進等も致しました。長年果たせなかった小学校6年の修学旅行を念願かなって同級生男女48名で南九州まるごと4日間の旅行をしてきました。

各地から集まってくるものですから、中では40年近くも逢わなかったものも4～5名いましたが、へつらわずためらうこともなく、それこそ14～15歳の悪ガキに戻ったようで、それはそれはバスガイドに申し訳無いことも度々でした。ゆっくりゆったり3泊4日の行程がビデオテープにして配られてこれか

ゴルフが出来るということは、人と人との交流を拡げ、又一步進めて考えると、異業種異分野の人との交流がなされ、たえず違った空気を入れることが出来る。

今日技術・物流の多様化、高付加価値商品開発の必要性などで、国際的にもいま異業種間の情報交流があたり前になっている。ひと昔まえまでは異業種間交流はもとより、ちょっとした社交交流も情報が漏れるのではないかと、といった疑いの目で見られることが多かったが、今はそのような日本のタコ壺思考では、国際的に生きられず、ひとつの新製品さえ生まれぬ時代になっている。

よき人間関係を作るには、自らが心を開き相手に接近することであり、ゴルフはプレーだけの付き合いではなく人間的なふれあいを楽しむ機会でもあり、次のステップへのスタートにもなるのではないだろうか。

当社は従来より海外において技術移転を行い、製品の生産委託を行ってきたが、本年は単独進出、合弁生産という方法での海外展開を更に進める。

“酉年、大いに発奮する。”

らの先々、私達の身近な友達として楽しみにしています。

11月に長男の結婚式を済ませて、同居をしてくれています。若い者が同居もよいものだと思ってくれるよう努力してゆきたいと思っておりますが……。

バブル崩壊、循環不況、先々不透明、はじけ不況にダメを押し。資産価値の目減り、在庫調整が進んでいない、等々。マスコミ関係の活字、造語にも飽き飽きしている今、皇太子殿下とご婚約されました小和田雅子さんに祝福申し上げて、さすが酉年などと悦にいらっています。天皇陛下も酉年、皇居では尾長鶏がハ～イ出番ですよと声高ー発長～く鳴いているようで嬉しくなります。

入社して44年、問屋団地に移って26年。当時の団地はまさに西部劇に出てくるような町並みに県外からも毎日何台ものバスで見学に來られました。見学者の皆さんからはあまりの広大さに危惧を感じられた方も少なくはありませんでした。現状を見る限りまさに今昔の思いも致します。

問屋町交通安全対策協議会が発足して25年目に入

ります。当初よりお手伝いさせていただいておりますが、加盟企業146社、法人車両1,500台、個人車両2,100台、それに伴う団地内駐車スペースでは自社、共同駐車場合わせても多少の不足があり、こ

れから先、各企業の発展に伴う駐車場の収容能力問題を思うにつけ、今年もボヤキながらお世話になります。

## 初市風景

金沢問屋センター繊維同業会（八田隆年会長）吉例の初市は1月7、8日の両日、各社会場にて行われた。

和装関連では、フォーマルの高級呉服の需要が相変わらず強く、デザイナーブランドのゆかたも好調である。

厳しい環境が続く中、話題性を強く打ち出し、関連性のあるものを手広く手掛けるため、以前程ははっきりした業種の区別がなくなりつつあるようである。



### きもので乾杯!! おめでとうフェスティバル

1月15日(金)、金沢東急ホテルで「きもので乾杯、おめでとうフェスティバル」（主催・石川県和装振興会）が行われ、新成人約300人が出席した。

元バービーボーイズの近藤 敦さんをゲストに迎えて、ショー & ゲームの他、豪華景品の当る抽選会もあり、楽しいひとときであった。

